

『授業連携報告書』

学校名 四日市市立 四郷小学校

Scratchの基本的な使い方を知る。Scratchを使って、プログラミングで様々な指示を送る。

目標(授業連携をした目的等)

プログラミングを学ぶことで、プログラミングに興味をもってほしい。また、順序立てて考えられる力をつけてほしい。

実施対象	学年	5年生	2	クラス	合計	72	名
授業科目	総合学習		科目「その他」の場合記入)				
単元	プログラミング		授業日	12	月	12	日

授業連携の前後の授業内容について

前	Scratchの基本的な使い方を知り、図形を描いたりキャラクターを動かしたりする。		
後	Scratchを使って、プログラミングで様々な指示を送って人工衛星を動かす。		
時間配分	学習内容・活動	児童・生徒の様子	学校(先生)の役割・活動
導入 20 分	JAXAについてどんな活動をしているのか、どんな人が働いているのか話を聞く。人工衛星の仕組みや身の回りにも人工衛星を利用したものがたくさんあるという話を聞く。	人工衛星の仕組みや自分たちの身のまわりにも人工衛星を使ったものがたくさんあることを知って驚いていた。	話を静かに聞くようにさせる。
展開 55 分	Scratchの基本的な使い方を知り、図形を描いたりキャラクターを動かしたりする。Scratchを使って、プログラミングで様々な指示を送って人工衛星を動かす。	前半の活動は思ったよりスムーズに作業を進めることができる児童が多かった。分からなさそうな友達を見かけると「教えてろ」と手助けする児童もいた。キャラクターのネコが動く「やった」「おもしろい」と満足げだった。後半は少しレベルがアップしたが、前半の活動で意欲がわいていたので積極的に質問してプログラミングをしていた。人工衛星が動いたり、暗い所と明るい所とする動きも自分がした指示通りに人工衛星が動いたりしたので喜んでいて。さらに難しいレベルにも挑戦したいと意欲満々だった。	講師の方の指示を聞いてその通りに作業できているか確認する。友達に助けてもらっただけでは次の過程に進めない児童への補助をする。
まとめ 5 分	プログラミングについてのまとめのお話を聞く。	「今度はいつするの？」と次回の活動を心待ちにしている児童が多かった。	講師の方のお話を静かに聞くようにさせる。きちんとお礼のあいさつをさせる。

授業連携の感想・メモ

たくさんの児童が「とても興味深く、難しいこともあったけど楽しかった」「来年もあったらいいです」「身の回りに人工衛星を使ったものがこんなにあるとは知らなかったです。もっとJAXAや宇宙のことを知りたいと思いました」など大変前向きな感想をもって授業を終えられたことは大きな成果だと思う。本格的にプログラミングが始まる子どもたちにとって良い体験になった。ありがとうございました。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。 難しいと思っていたけど自分にもできたのでプログラミングに興味をもつことができた。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	